

2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	改訂人間環境学刊行小委員会	主 査 名：松原 齋樹 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (企画刊行運営委員会)	委員長名：秋元 孝之 主 査 名：持田 灯
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	(設置目的) 98 年 4 月に刊行された「人間環境学」(朝倉書店)を、この間の学問分野の発展を考慮し、全面的な改訂をおこなうこと。 初年度：前年度までの議論を元にして、各章、各節の順序や内容、範囲などを議論して、目次を確定して、執筆者に依頼する。 2 年度：2022 年 3 月までに、最終原稿を提出する。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 主査：松原齋樹 幹事：辻村壮平 委員：大野隆造、讃井純一郎、大井尚行、佐野奈緒子、白川真裕、土田義郎、秋田剛、宗方淳、山中俊夫、西名大作、合掌頭、諫川輝之、	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2021 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	都市・建築環境デザインのための人間環境学 (刊行予定)
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー 等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 目次の作成、執筆者の依頼、一次原稿、二次原稿、三次原稿の提出、編集委員による査読等、ほぼ順調に進めてきた。
委員会活動の問題点 ・ 課題	特にない。

2021 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>1998 年 4 月に刊行された「人間環境学」(朝倉書店)が、刊行から 20 年を経たが、この間の学問分野の発展を考慮し、全面的な改訂作業をおこなってきた。主たる目的は、人間と環境の関わりに関する基礎知識を授け、学生が建築設計課題に取り組む上で考えるべき、さまざまな心理・行動的観点に気づかせることであり、都市・建築系の学部生が、設計演習課題のエスキスを構想する段階で、人間にとってよい建築、環境をイメージするために有益的な情報を多数盛り込むことを意図して進めてきた。</p> <p>小委員会設置以後の 2 年間で、目次の作成、執筆者の依頼、一次原稿、二次原稿、三次原稿の提出、編集委員による査読等、ほぼ順調に進めてきた。シビアな意見交換を頻繁におこなってきたため、内容の完成度はかなり高い物になっている。今年 10 月頃の刊行の予定である。</p>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。